

きららタウンでのハヤブサ繁殖の歴史

繁殖するハヤブサを初めて確認

2004年(平成16年): なぎさ・きらら
 ハヤブサが繁殖のために営巣した建物(ホテル)は1996年11月竣工、営業をスタートしています。それから8年目になる2004年、ホテルのベランダの一角でハトの繁殖によって堆積した糞の山でハヤブサが繁殖していることが確認されました。その年に確認されたヒナ2羽は無事に巣立っていきました。親たちはどこからやって来たのか、いつからここに居を構えたのかは不明です。のちにメスの親を「なぎさ」、オスの親を「きらら」と呼び、ホテルの従業員や近隣の住民、あるいは日本野鳥の会大阪支部のメンバーにより観察がはじめられました。



2004年に撮影されたペア 左:なぎさ♀、右:きらら♂

メス親なぎさの失踪

2005年(平成17年): なぎさ・きらら
 なぎさときららのペアは卵を4個産みましたが、メスのなぎさに何かの支障があり途中で抱卵を放棄してしまいました。メスのなぎさはおそらく、巣外で事故にあったと思われます。そのうち、別のメス(いずみ)がやって来てペアを形成しましたが、その年は繁殖しませんでした。



2006年に巣立った幼鳥たち

2代目メスいずみときららによる繁殖

2006年(平成18年): いずみ・きらら
 いずみときららによる繁殖の時代が始まりました。また、「ハヤブササポート倶楽部」を結成し観察と保護啓蒙活動を開始しました。「見守りカメラ」と名付けた24時間巣の様子を観察できるカメラを設置、インターネットを通じて観察できるようになりました。この年、2006年は4羽のヒナが孵り、1羽は行方不明になりましたが3羽が無事に巣立ちました。



2007年に撮影されたペア 左:いずみ♀、右:きらら♂

2007年(平成19年): いずみ・きらら

ハヤブサの繁殖用の巣皿を設置しました。これまで、ハヤブサはベランダのハトのフンを巣として利用していましたが、フンが大量にあることから、そのまま放置することに問題があるため、ホテルの了解を得て、ハトのフンを取り除き、代わりに、巣皿(ペット用のトイレのトレイ)を用意し、巣皿の内側にハヤブサが止まりやすいように岩をモルタルセメントで固定し、巣皿の中に小石を敷き、表面には砂を入れました。巣のまわりの様子が大きく変わりましたが、ハヤブサは新しい巣皿と止まり用の岩を気に入ってくれたようです。2個の卵を産みヒナ2羽が孵化しましたが、巣立ち直後に1羽が事故死。1羽が無事に巣立ちました。



2007年に生まれたヒナたちと巣立った幼鳥

2008年(平成20年): いずみ・きらら

ハヤブサ4羽が無事に巣立ちました。5回目の子育て挑戦のうち最もスムーズに子育てができたのではないかと思います。4羽の幼鳥たちが、きららタウン内だけでなくフェニックスの埋立地や駅前のタワーマンションの屋上などで見られる期間があり、多くの方がその様子を観



2008年生まれのヒナたちに餌を与えるいずみ♀

察されています。きららタウンでの幼鳥の最終確認日は7月11日でしたが、「いずみ」と「きらら」は、ほぼ毎日巣のあるベランダに現れていました。

いずみの負傷と3代目メスそらの登場

2009年(H21): いずみ(⇒そら)・きらら
 波乱万丈の1年でした。いずみときららのペアによる子育てが順調に始まりました。4個の卵を温め始めて14日目にいずみが負傷。いずみといずみの卵4個を保護しました。保護された4個の卵は篤志家の人工ふ化で2羽のヒナが誕生、そのうち研究施設で育てられて放鳥されました。いずみについても保護されたのち篤志家の動物病院で療養生活を過ごしました。いずみが居なくなったのちに現れたN子(♀)ときららはペアが形成されず、その後現れたそら(♀)とペアが形成されました。前年と比べると約1ヶ月遅れで再スタートしたきららタウンでの子育てでしたが、3個の卵が無事にふ化し巣立ちました。そのうち1羽は巣立ち直後にセンタービルの窓ガラスに激突、墜落して死亡しましたが、他の2羽はのちにフェニックスの埋立地地帯で狩りしているところを確認されました。



2008年に生まれ巣立った幼鳥たち、4羽



2009年に撮影されたペア 左:そら♀、右:きらら♂

2010年(平成22年): そら・きらら

3月8日に第一卵を産卵。そらちゃんときららで交代で抱卵し、4月16日、17日、3羽のヒナが誕生しました。ヒナたちはすくすく成長し、5月28日に2羽、29日には残りの1羽が巣立ちました。最初に巣立ちした1羽は残念ながら30日から行方不明になってしまいましたが、あとの2羽は、そらちゃんときららくんから飛翔や餌の受け渡しなどの訓練を受けながら元気に成長しました。その後9月9日、巣立ち直後に行方不明になっていた幼鳥と思われる1羽も、他の1羽と一緒にいるところが近くの埋立地で観察されました。



2009年生まれのヒナたちに餌を与えるそら♀ときらら♂

2011年: そら・きらら

3月6日に第一卵を産卵。13日には第四卵目を産卵しました。前年より2日早いペースで今年は始まりました。そらちゃんがほぼ独占的に抱卵し、4月13日に2個、14日、15日にそれぞれ1個が孵り、4羽のヒナが誕生しました。巣の中でひしめき合いながらヒナたちはすくすく成長し、5月22日に3羽の幼鳥が、24日には最後の1羽の幼鳥が巣立ちました。6月1日には1羽の幼鳥が高速道路に落ちて死亡、6月2日にはきららが翼を負傷して一時はどうなることかと心配しました。そらちゃんの訓練を受けて、ようやくひとり立ちできるようになった若ハヤブサ3羽が見えない範囲まで飛んでいくようになりました。この年にNHKの番組「ターウィンが来た!生き物新伝説」の制作スタッフによる取材があり、11月20日の放送できららタウンのハヤブサ一家として全国で紹介されました。



2009年に生まれ巣立った幼鳥たち 3羽の内2羽

2012年(平成24年): そら・きらら

3月11日、2012年の第1卵を産卵。12日、14日、16日と順調に産卵をして、昨年同様4卵が揃いました。抱卵は順調に進み、4月17日に3羽、翌18日に1羽、今年も4羽のヒナが無事に誕生しました。5月25日には1羽の幼鳥が巣のあるベランダから巣立ちました、5月27日には残りの3羽も巣のあるベランダから巣立ちました。6月末現在、昨年のような事故もなく、4羽の幼鳥たちは元気に飛び回っていました。



2010年に生まれ巣立った幼鳥たち 3羽

2013年(H25): そら・きらら(繁殖失敗)

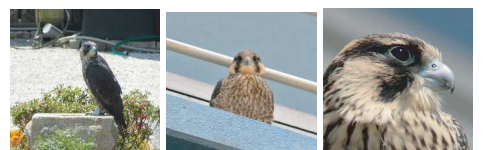
3月5日に産卵を開始し、順調に4卵を産卵していましたが、抱卵を開始してから6月19日で100日になりました。卵が死んでいること、これから暑さが厳しくなり、きららとそらが抱卵を継続することにより衰弱することも想定されますので、6月21日に卵を取り除きました。残念ながら、今年の子育ては失敗となりました。



2011年に巣立った幼鳥たち 3羽、他1羽は巣立ち直後に死亡。

2014年(平成26年): そら・きらら

2月7日交尾が初めて確認されました。3月11日、13日、16日、18日と産卵。4月17日18日3羽が誕生。第4羽目は遅れて4月24日に誕生しましたが翌日に死亡。5月27日28日3羽が無事に巣立ちました。



2012年に巣立った幼鳥たち 4羽

2015年(平成27年): そら・きらら

1月22日の交尾確認。3月3日から3月10日にかけて4個を産卵を確認しました。4月10日、11日、12日と順調に誕生し、4羽そろって成長しました。5月20日から5月22日にかけて巣立ちを確認。そのうちの1羽が巣立ったその日に高速道路上で車に轢かれて死亡。残りの3羽の幼鳥はきららとそらから訓練を受けながら逞しく成長し、7月初旬頃まで近辺で観察されました。



2014年に巣立った幼鳥たち 3羽

初代オスきららの失踪・きららIIの登場

2016年(平成28): そら・きらら(⇒きららII)
 3月1日から3月9日にかけて4卵を確認しました。抱卵57日目の5月4日を最後にきららIIが行方不明となりました。5月8日、抱卵開始から60日を経過しても孵化しないので、環境省へ連絡し対応を相談し卵を取り除きました。5月23日、新しいオス(きららII)が見守りカメラに写りました。5月24日、そらときららIIが遂に巣の中で挨拶行動をする様子が観察されましたが、この年の繁殖は失敗に終わりました。



2015年に巣立った幼鳥たち 4羽(内1羽は交通事故死)

2017年(平成29年): そら・きららII

1月8日、今季初めての「ごはんプレゼント」が観察されて、順調にペアリングが成立しました。3月8日、そらが第1卵、11日、第2卵、13日、第3卵、15日第4卵を産みました。4月15日、誕生したのは2羽でしたが、すくすくと育ち5月29日、ヒナ2羽とも無事に巣立ちました。



2016年からペアとなった。左:そら♀、右:きららII♂

7月27日、幼鳥がベランダに来ました!そらときららIIにとって初めての繁殖成功です。



2017年に巣立った幼鳥たち 2羽(他2個の卵はふ化せず)

2018年(平成30年): そら・きららII

1月27日、手すり上での交尾が確認、順調に繁殖活動が始まりました。3月5日、第1卵を産卵、8日、10日に第2卵。第3卵を産卵し、抱卵体制開始しました。4月12日、13日に、第1子、第2子が誕生しました。5月22日に1羽の幼鳥、5月26日にもう1羽の幼鳥が無事に巣立ちました。



2018年に巣立った幼鳥たち 2羽(体の大きさの違いから「ちーちゃん」「えるちゃん」と呼ばれて親しまれました)

2代目オスきららIIからきららIIIへ

2019年(平成31年・令和元年): そら・きららII(⇒きららIII)
 3月5日から12日にかけて4個の産卵。4月12日から14日にかけて4羽のヒナの姿を確認。5月23日から26日にかけて4羽が巣立ちましたが、1羽は高速道路本線に落ちて死亡しました。7月27日に来たのを最後にきららIIが行方不明となり、11月28日、巣階手すりにオスのハヤブサが登場。12月10日には巣の中で、そらと挨拶行動が観察されました。「きららIII」と名付けました。



2019年に巣立った幼鳥たち 4羽

3代目メスそらからななへ

2020年(令和2年): そら(⇒なな)・きららIII
 2月29日から3月7日にかけて4個の卵を産卵。4月7日から9日にかけて3羽が誕生。5月8日から22日にかけて3羽の巣立ちを確認。6月20日にカメラに映ったのを最後にそらが行方不明となり、7月25日に新しいメスが登場。ななと名付けました。



2019年にペアとなった。左:そら、右:きららIII(1シーズンのみ)

きららタウン泉大津のハヤブサ一家の子育て挑戦は永遠です。3代目オス:きららIII、4代目メス:ななに声援を送りましょう。

泉大津ハヤブサの繁殖の歴史

| 観察年 | オス(♂) | メス(♀) | ペア | 卵数 | ヒナ数 |
|---------|-------|-------|--------|----|-----|
| 2004年 | | なぎさ | きらら | 2 | 2 |
| 2005年の1 | | なぎさ | きらら | 4 | 0 |
| 2005年の2 | | | | 0 | 0 |
| 2006年 | | | | 4 | 4 |
| 2007年 | | いずみ | きらら | 2 | 2 |
| 2008年の1 | | いずみ | きらら | 4 | 4 |
| 2008年の2 | | | | 4 | 2 |
| 2010年 | | | | 3 | 3 |
| 2011年 | | | | 4 | 4 |
| 2012年 | | | きらら | 4 | 4 |
| 2013年 | | | そら | 4 | 0 |
| 2014年 | | | | 4 | 3 |
| 2015年 | | | | 4 | 4 |
| 2016年の1 | | | | 4 | 0 |
| 2016年の2 | | | | 0 | 0 |
| 2017年 | | | きららII | 4 | 2 |
| 2018年 | | | そら | 3 | 2 |
| 2019年 | | | | 4 | 4 |
| 2020年の1 | | | きららIII | 4 | 3 |
| 2020年の2 | | | そら | 0 | 0 |
| 2021年 | | | きららIII | | |
| 2022年 | | なな | きららIII | | |
| 合計 | | | | 66 | 46 |



2020年にペアとなった。左:なな、右:きららIII



2020年にペアとなった。左:なな、右:きららIII

泉大津ハヤブサ・サポート倶楽部作成 2020年11月